

全政連

August

第52回年次大会 瀬川会長を再任 銀行参入問題で山本会長が政府に質問主意書を提出



全政連・瀬川信義会長



宅議連・山本有二会長



宅議連・野田毅最高顧問(全政連顧問)

全政連は6月29日、東京・千代田区のホテルニューオータニで第52回年次大会を開催しました。大会冒頭、瀬川信義会長は「3年度の活動では、改正銀行法で銀行本体の業務範囲に不動産業務は規定されませんでした。この成果は宅議連の山本会長、野田前会長をはじめ所属の先生方等にお力添えいただいた結果」と謝辞を述べました。

続いて、宅議連・山本有二会長が銀行の不動産業参入問題で自ら政府に対して『銀行による不動産業への進出に関する質問主意書』を提出し、岸田文雄・内閣総理大臣名の『答弁書』を受け取ったことを報告しました。

質問主意書では、銀行が不動産仲介業に参入することは過剰融資や抱き合わせ営業による利益相反などのモラルハザードを発生させ、さらに優越的な地位の乱用につながると指摘。銀行が保有する不動産の賃貸自由化も認められるものではないとして政府の見解を問うています。

これに対して答弁書では、銀行法の規定に基づき、銀行

は宅建業を行うことはできないこと、銀行の健全性確保や利益相反が生じるおそれ等に留意する必要があるため不動産仲介業への参入は直ちに認めることはできないことが明らかにされました。また、銀行の「保有不動産の賃貸自由化」は金融庁が定めた指針に基づき判断していくもので、銀行が無制限に賃貸業務を行えるものではないとしています。山本会長は「質問主意書への答弁書には閣議決定が必要で、この答弁書は政府全体に効果が及ぶもの」と強く語り、会場内に拍手が起きました。

宅議連最高顧問で全政連顧問の野田毅氏もまた山本会長の今回の行動を称えました。

大会では3年度活動経過報告書、収支決算書、4年度活動計画書、収支予算書が承認されました。また4・5年度役員選任で瀬川会長が再任され、「今後も全宅連と連携し、スピード感を持って課題に取り組んでいく」と抱負を語りました(副会長、幹事・監査役は裏面参照)。

第26回 参議院議員 通常選挙

全政連推薦候補者
(比例区)選挙結果



当選 片山さつき 議員



当選 足立敏之 議員



当選 阿達雅志 議員

全政連は今後も3議員と協力して活動してまいります

全政連 令和4・5年度役員

会長・副会長

全政連令和4・5年度役員選任で、会長に瀬川信義氏(東京)、副会長には、車孝則氏(茨城)、角幸彦氏(和歌山)、柴山利博氏(福岡)の3氏の就任が承認されました。

また、幹事・監査役についても下記の通り承認されました。



(左から)柴山副会長(福岡)、瀬川会長(東京)、角副会長(和歌山)、車副会長(茨城)

幹事・監査役

■ 幹事

高橋静孝(北海道)▷齋藤弘臣(青森)▷多田幸司(岩手)▷赤田英博(秋田)▷佐藤茂利(山形)▷早坂一夫(宮城)▷伊東孝弥(福島)▷車孝則(茨城)▷野本晃也(栃木)▷櫻井文雄(群馬)▷内田茂(埼玉)▷岡本修(千葉)▷久保田辰彦(東京)▷桐ヶ谷修幸(神奈川)▷石井政治(新潟)▷市川昇(長野)▷田中玉男(山梨)▷吉田光弘(富山)▷新谷健二(石川)▷坂田信行(福井)▷山本武久(岐阜)▷渡邊照芳(静岡)▷伊藤亘(愛知)▷堀常一(滋賀)▷北川安彦(京都)▷山本清孝(大阪)▷柴田茂徳(兵庫)▷吉村岩雄(奈良)▷角幸彦(和歌山)▷藤原博文(鳥取)▷中島浩司(島根)▷住田典聡(岡山)▷浅利清(広島)▷林真一郎(山口)▷清水哲也(徳島)▷樋口範明(香川)▷小林昌三(愛媛)▷藤本武志(高知)▷柴山利博(福岡)▷指山広樹(佐賀)▷山下良一(長崎)▷志水一博(熊本)▷舛巴清人(大分)▷井澤正行(宮崎)▷桑鶴悟(鹿児島)▷上地隆(沖縄)

■ 監査役

早坂隆(宮城)▷梅田武久(愛知)▷山下徳隆(高知)

令和4年6月29日現在

ZEN
SEI
REN
2022・2023